

# <宮崎県>大淀川・小丸川水系流域治水協議会

計画: 「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和5年度を取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 水災害・流域治水の広報

- 宮崎県防災の日における普及・啓発(イベント・テレビCM等)(危機管理課)
- 防災週間における普及啓発(テレビCM・SNS広告等)(危機管理課)
- 懸垂幕やポスター等で土砂災害に関する啓発活動を実施(砂防課)

### 教育活動

- 防災士養成研修の実施(R5. 4月末 県内の防災士 6,674人)(危機管理課)
- 学校、企業、自治会等への防災士出前講座の実施(年120回程度)(危機管理課)
- 小中高校や地区住民への防災教育や流域治水などに関する出前講座の開催(河川課、砂防課)

### リスク情報等の提供

- 防災情報共有システムによる防災情報の共有(危機管理課)
- 土砂災害警戒区域等の公表(砂防課)
- 洪水浸水想定区域図の作成(宮崎、都城、小林、高岡土木事務所)

### 計画策定

- マイハザードマップ作成支援(砂防課)

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

#2 <宮崎県> 大淀川・小丸川水系流域治水協議会

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<b>① 知る機会を増やす</b> ◎連携活動   企業・団体   ◎水災害、流域治水の広報   地域   個人   企業・団体				
	SNSや広報誌等による水害・土砂災害に関する啓発活動			
	イベント、テレビ・SNS広告による防災啓発活動			
懸垂幕やポスター等で土砂災害に関する啓発活動を実施				
<b>② 自分事と捉えることを促す</b> ◎教育活動   地域   個人   ◎リスク情報等の提供   地域   個人   企業・団体   ◎訓練活動   地域   個人	防災講話、出前講座			
	防災士の養成、防災士出前講座			
	土砂災害警戒区域等の公表			
	洪水浸水想定区域図の作成			
	防災情報共有システムによる防災情報の共有			
<b>③ 行動を誘発する</b> ◎水防活動の支援   地域   個人   企業・団体   ◎水災害対策の支援   個人   ◎計画策定   地域   個人   企業・団体	マイハザードマップの作成支援			

# <宮崎県>大淀川・小丸川水系流域治水協議会

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 水災害・流域治水の広報

○宮崎県防災の日、防災週間における普及・啓発



○懸垂幕やポスター等で土砂災害に関する啓発活動を実施

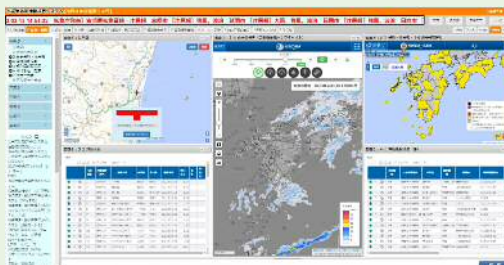


## 教育活動

- 防災士養成研修の実施  
(R5.4月末時点 県内の防災士6,674人)
- 学校、自治会、企業等への防災士出前講座の実施  
(年120回程度)
- 小中学校や地区住民への防災教育や流域治水などに関する出前講座の開催  
(土砂災害防止教室 R5: 県内33校 1,438人)  
→流域治水に関する出前講座の実施  
R5: 県内5校 120人(内数)  
(土砂災害防止講座 R5: 県内25地区 1,197人)

## リスク情報等の提供

○防災情報共有システムによる防災情報の共有



- 洪水浸水想定区域図の作成
- 土砂災害警戒区域等の公表

## 計画策定

○マイハザードマップ作成支援  
(R5: 県内2地区で実施)



### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える